

高学年 第6学年の授業づくり

研究授業前の 児童の姿

- 伝え合って学ぶよさを実感し、一人一人に伝え合いのスキルが備わってきている。
- 一方で、伝え合うことに慣れてしまい、意見を集約してまとめるだけの伝え合いになってしまっている。



研究授業 6月11日(水)

単元名 文章と対話しながら読み、自分の考えをもとう。
教材名 「生き物はつながりの中に」(光村図書 6年)

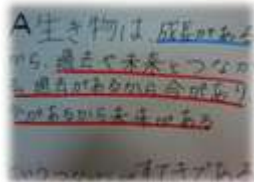
授業の工夫

- 1 ラウンドテーブルの手法を取り入れ、伝え合ったことのまとめ方の視点をもたせる。
- 2 児童の実態に応じて3～4人のグループ編成を行う。
- 3 単元を通して同じグループで伝え合いを重ね、伝え合い方を振り返らせることで、スキルの定着を図る。

1 伝え合いの手法の工夫——ラウンドテーブル

模造紙の中心に、本時の課題を提示し、以下のように進めた。

- ①前時に書いた自分の考えを発表する。
- ②同じ考えを線で結び、小見出しを付ける。
- ③線で結んでいない考えの中から課題に関して大事な事柄がないか検討する。
- ④班として考えをまとめる。



児童が伝え合ったことをまとめる際には、「生き物は…だとすてきである。」のように初めと終わりを指定したワークシートを用意した。児童にまとめ方の視点をもたせるとともに、各班のまとめを後で比較・検討しやすくするようにした。



2 伝え合いの形態の工夫

一人一人が責任をもって伝え合えるように、児童の伝え合いのスキルを考慮したグループ編成を行った。

3 伝え合いのスキルを定着させる工夫

前年から引き続き、児童に伝え合いのキーワードを示すことで、自信のない児童でも伝え合いに参加できるようにした。毎時間伝え合いを振り返ることで友達のよさを言語化したり自己の高まりを実感したりできるようにした。

研究授業 成果と課題

☆振り返りカードに書かれた児童の気づきを学級全体にフィードバックすることで、児童が伝え合いの意欲をもち続け、高め合うことができた。

★どのような集団、形態でも伝え合うことのできる児童を目指す必要がある。



研究成果報告会 授業のポイント

単元名 物語を読んで、考えを深めよう。
教材名 「海の命」(光村図書 6年)

ラウンドテーブルを活用した伝え合い、多様な形態を取り入れた伝え合いを通して、自分の考えを広げたり深めたりする授業